

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

最上地域の製材工場を視察しました。



説明を受ける研修生（協和木材）

東北森林管理局では、若手職員を対象とした国有林野事業の業務に関わる様々な研修を実施しています。

今回の研修では、木材需給の動向、木材産業の概況等について学ぶため最上地域の製材工場を視察いたしました。

協和木材株式会社新庄工場では、工場で取り扱っている集成材製品の状況を中心に、原木（スギ）の入荷状況、隣接各県からの仕入れ状況、製品の出荷状況等について担当者から説明を受けました。

協和木材では主に管柱（くだばしら）家の柱となる重要な物を製品として取り扱っていました。

製品の需要も高まっており、年々製品生産量が増加しているとのこと。（原木の確保が重要とのこと。）

次に、株式会社庄司製材所を視察しました。

庄司製材所は、製造工程から発生する副産物はチップ材等に利用し、樹皮・木屑などは、バイオマスボイラーを燃料として温水や暖房などに使用されており、完全リサイクルシステムを確立しているようです。（まさに、SDGs です）

原木（主にスギ）を加工して様々な木材製品（製材、集成材、合板、チップなど）を製造・販売する様子を工場視察を通して学んだことは、木材供給者（国有林マン）側の立場からも大いに勉強になったのではないのでしょうか。



プラントの様子（協和木材）



バイオマスボイラー（庄司製材所）

森林・林業技術交流発表会の開催（お知らせ）

東北森林管理局では、森林・林業・木材産業の活性化等を推進するための諸課題に対する取組の情報提供・意見交換等を行い、関係者の技術の普及・向上及び交流の推進に寄与することを目的として「森林・林業技術交流発表会」を2月1日（火）～2日（水）までの二日間にわたり開催いたします。（東北森林管理局HP をチェック）

今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、WEB 会議ツールによるリモート開催となり、一般公開は残念ながら行わないこととなりました。

当支署からも「国有林のフィールドを活用した森林教育活動の取組」と題して発表します。（発表集としてHP に掲載されます）

また、交流発表会の様子は東北森林管理局HP にアップされますので、興味のある方は是非チェックしてみてください。



コロナ以前の発表会の様子



支署で発表する森林活動教育



最上川

山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

